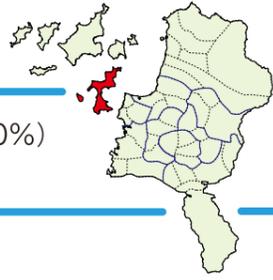


興居島地区

人口:1,005人(高齢化率62.0%)
世帯数:618世帯

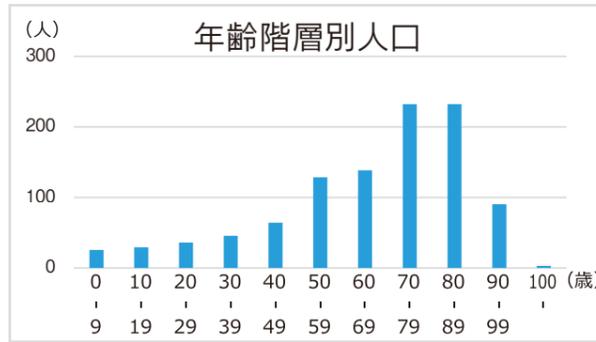


【地区の特色】

松山沖に位置し、瀬戸内特有の温暖な気候に恵まれ、人情味溢れる住民、おいしい柑橘・魚貝類など自然にめぐまれた地域である。最近が高齢化・少子化が進み人口減少が著しいが、縄文土器の出土をはじめ、古代伊予国の説話を伝える和気比売神社や平安時代からはじまると伝えられる県無形文化財指定の「船踊り」・「行基創建の観音寺」・「伊予の小富士山」など、島の歴史は古く奥深い。



無形文化財「船踊り」



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団結が強い ・住民間でのつきあいがある ・治安がいい ・人が優しい、温かい ・子ども達からのあいさつが活発 ・海の幸、山の幸がある ・みかんがおいしい ・自然が多い ・釣り人が来る ・お試し移住施設(ハイムインゼルごごしま)がある ・ヘリポートが4ヵ所 ・島内に幼小中があり通える ・島内に診療所や福祉施設がある ・空き家の相談窓口設置 ・移住者の増加(5件) ・移住者家族に子育て世帯が増えている ・地区外に誇れる無形文化財「船踊り」がある ・ふれあいタクシーの運転手の研修を年間2名受けている(現在、車8台・運転手9名)
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い ・食堂がない ・獣害(いのしし) ・鳥害 ・空き家が多い(放置された空き家問題) ・農業をする若い世帯は通いで来ている ・運転手の高齢化 ・平地が少ない ・戸締まりをしない(無施錠) ・道路横の農地が放置され手が出せない
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のみの世帯、高齢者の独居世帯が多いので身寄りが無い人が多くなった ・足腰が弱るとゴミ捨てや畑のある山に行けない ・災害発生時の避難補助が必要 ・子ども、若者が少ない ・公共交通機関がない ・買い物や通院が不便 ・島外への病院(専門科)へ行きづらい ・介護保険で利用できる事業所の選択肢が少ない ・各町の婦人会組織が無くなっている(担い手不足) ・離島であることから、救急搬送の問題 ・海上タクシーが無くなった

興居島地区社会福祉協議会

思いやり 心で結ぶ ごご島の里

構成団体	地区民協・公民館・町内会・各町連絡会協議会・まちづくり協議会
------	--------------------------------

主な取り組み	活動内容
福祉学習の推進	小・中学校と連携し、高齢者サロンと子どもの交流や清掃活動など福祉学習の推進をしています。
各種団体への支援	島内で活動している様々な団体へ助成し、活動の支援を行っています。また、共同募金の配分金を活用し青少年の健全育成に寄与しています。
地区高齢者の見守り活動	地区民協と連携して島内の高齢者宅を訪問し、生活上の心配ごとを聞いて、必要であれば地域包括支援センターに繋ぐなどの活動を行っています。

ふれあいタクシー(過疎地有償運送事業)

島内には公共の交通機関がなく、移動手段のない住民を地域住民の手で支えるため福祉施設と連携して平成27年から「ふれあいタクシー」の運行を開始しました。令和4年度現在、車9台、運転手10名で運行しており、買い物や通院などに年間延べ約1,149名の利用があります。



<地区社協が目指すもの>

少子高齢化が著しく進む興居島地区の地区社協が目指す究極の形は、「島民同士が共に助け合いながら穏やかに安心して暮らすこと」に尽きると考えます。そのため、島民が助け合う仕組みの「ふれあいタクシー」をはじめ、県が進めるDXアイランド興居島事業で設置された「見守りカメラ」・「獣害センサー」・「防災ドローン」の導入や「空き家対策」・「移住者交流」など、あらゆる機会を通して「安心して暮らせる」仕組みづくりを目指します。

さらには、「心温まる声を掛けあう地域活動」の活性化などを通じて、地域福祉の推進を図ります。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	12名 2名	■町内会・自治会・区長会等 ■高齢クラブ	9団体 6クラブ
	■まち協の設立	平成29年度	■子ども会 ■自主防災組織	1団体 9組織

人口減少が進む一方で、移住者が増加し、離島に新しい風が吹いています。公共交通はありませんが、ヘリポートが設置され、「ふれあいタクシー(過疎地有償運送事業)」の運営が行われています。担い手を確保し、取り組みを維持することは容易なことではなく、地域が協力して困難な地域課題に取り組む素晴らしい実践です。公共交通機関では難しい、細やかなニーズに対応し、島民の暮らしを支えています。子どもから高齢者まで、お互いに助けあう、声をかけあうという気持ちがあり、地区社協でも高齢者サロンで子どもとの交流を行うなど、つながりの機会を作っています。DXを活用した「安心」の島で、伝統を次世代に受け継いでいくことが期待されます。

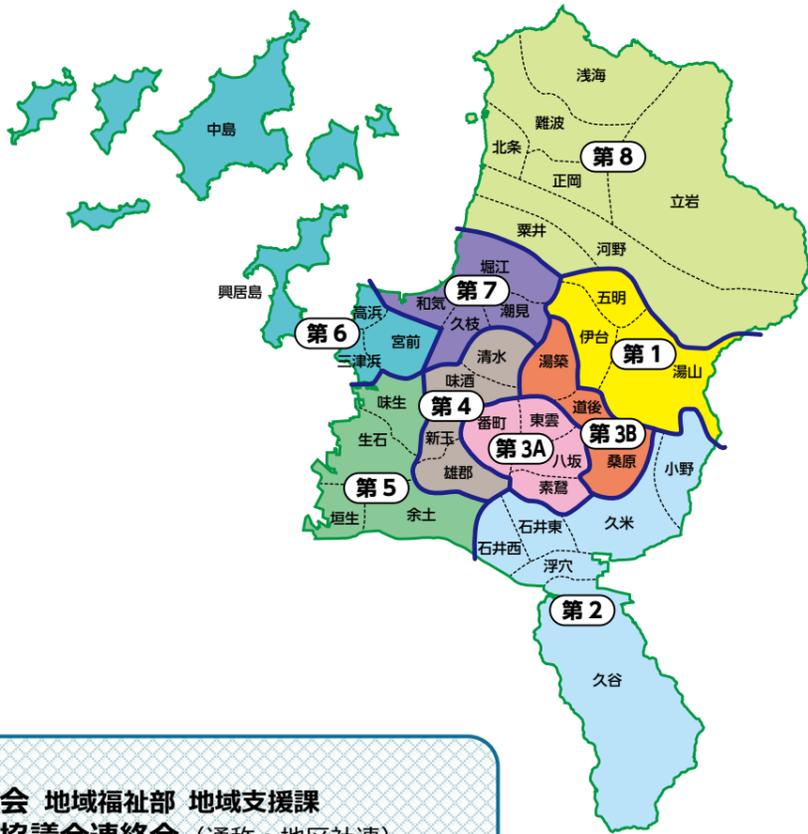


地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活での不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域が今どのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録（カルテ）を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区	第6	宮前地区	第8	浅海地区
	伊台地区		三津浜地区		立岩地区
	湯山地区		高浜地区		難波地区
第2	久米地区	第7	潮見地区	第8	正岡地区
	浮穴地区		久枝地区		北条地区
	小野地区		和気地区		河野地区
	石井東地区		堀江地区		粟井地区
	石井西地区				
久谷地区					
第3 A	番町地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	八坂地区		新玉地区		新玉地区
	東雲地区		清水地区		清水地区
素鷲地区	味酒地区	味酒地区			
第3 B	道後地区	第4	雄郡地区	第5	雄郡地区
	湯築地区		新玉地区		新玉地区
桑原地区	味酒地区	味酒地区			
第4	雄郡地区	第5	雄郡地区	第5	雄郡地区
	新玉地区		新玉地区		新玉地区
	清水地区		清水地区		清水地区
味酒地区	味酒地区	味酒地区			
第5	余土地区	第5	余土地区	第5	余土地区
	垣生地区		垣生地区		垣生地区
	生石地区		生石地区		生石地区
味生地区	味生地区	味生地区			



発行日 令和6年4月
発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
 松山市地区社会福祉協議会連絡会（通称：地区社連）
 〒790-0808 松山市若草町8番地2
 TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
 Webアドレス <https://www.matsuyama-wel.jp/>
作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます！

①地区の概要

五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と豊富な湿度がある立地条件を生かし、古くから心とう栽培に誇りを持っている。また、五明太郎などの「五明太郎」源氏平太が自然発生の「五明川が流れており、清流に親れている。

人口：426人（高齢化率48.8%）
世帯数：225世帯

②地域住民からみた地域の状況

高齢者が多く、この地域が把握できる一家庭内の事情がある程度わかっている。個人で生活して中絶、物取合いもしている。移動サービスが来る。車での通勤。通学時間は通学も20-30分で市内中心部へ行く。自然が豊かで季節を感じることができる。食べ物の心配（コンド）が抱えている。自主防災と連携し、災害時の避難の仕組みを作っている。乗合タクシーが利用できる。まちが静か。地域団体との連携が取れている。田舎暮らしなど地域の子どもの交流。

③地区社協の概要と取り組み

五明地区社協は、公民館をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、奉仕活動、まちづくり、健康づくり、高齢者支援、しめつけ、もちつき、ふるさとまつりなどの地域行事と連携した地域活動の推進を基本方針としている。今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の推進を目標としていくものとする。

④地区内関係団体データ

地区民協、まち協の設立、町内会等、高齢クラブ、子ども会、自主防災組織の現状を把握している。

⑤地域福祉推進のポイント

聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

- ①地区の概要**
 - 人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の令和5年4月1日現在のデータを記載しています。
 - 地区の特色は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。
- ②地域住民からみた地域の状況**
 - 研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。
- ③地区社協の概要と取り組み**
 - 令和5年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。
- ④地区内関係団体データ**

■地区民協	令和5年4月1日現在の定数
■まち協の設立	令和5年9月1日現在の設置状況
■町内会等	令和5年度町内会等状況調査（基準日：令和5年6月1日）
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数（令和5年7月1日現在）
■子ども会	令和5年度松山市子ども会連合会加入数（令和5年5月1日現在）
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況（令和5年4月1日現在）
- ⑤地域福祉推進のポイント**
 - 聖カタリナ大学 教授 村岡則子氏をはじめとする学識経験者のみなさまから地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。
 - 《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》教授 釜野鉄平氏、助教 雑賀正彦氏、助教 鬼頭裕美氏